

奈良女子大の記念館一般公開

vol.381
2017.11.13

1週間で3800人来場

奈良女子大は10月30日から11月5日まで、国の重要文化財に指定されている記念館を一般公開した。20世紀を代表する数学者で、同大の教授を務めた岡潔の論文やスケッチなどを展示し、計3874人の来場者でにぎわった。

1909年に完成した現在の記念館にはかつての事務室や講堂があり、奈良女子高等師範学校本館として使用された。80年代に新しく事務室や講堂が建てられてからは、記念館は大学院の入学式・卒業式やサークル



「百年ピアノ」は誰でも自由に弾くことができる（撮影＝嶋田敬史）

活動の発表の場となっている。記念館の講堂には、高等師範学校の創立当時に購入されたグランドピアノが保存されており、明治期製造の国産ピアノとしての希少性から「百年ピアノ」として親しまれている。

期間中は特別展示として大学に所蔵してある岡潔の資料を公開。岡潔は60年に文化勲章を受章した数学者で、本人手書きの論文や俳句などが展示された。来館していた同大の大学院生は、「岡潔が実際に書いたスケッチなど当時の生活感が分かる展示品が印象的だった」と話した。

また、期間中は同大の学生がガイドツアーを実施。午前と午後1回ずつ各20分程度で、毎回10～30人ほどの参加者に館内を案内した。ガイドツアーを行った学生は、「参加者の中にはご年配の方も多かったため、ゆっくり説明して回るよう心掛けた」と語った。

奈良女子大は、記念館の改修工事を行った2015年を除き、毎年春と秋に1週間ほど記念館を公開している。総務・企画課広報



講堂の椅子やピアノは当時のままの形で保管されている（撮影＝嶋田敬史）

係の口分田和輝さんは「低く取り付けられているドアの取っ手や階段の手すりなどは、当時の学生の体形に合わせて作られている。記念館は本学の長い歴史を肌で感じられる建物なので、来春の公開にも多くの方々に足を運んでもらえれば」と語った。（聞き手＝嶋田敬史）

配信・発行

UNN関西学生報道連盟

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4階
電話 06 (6307) 1315 FAX 06 (6829) 6353
メール info@unn-news.com ウェブサイト http://www.unn-news.com/

週刊FOCUSは毎週月曜日発行です

UNN関西学生報道連盟は

京都大学CLOCK編集部
大阪大学POST通信社
神戸大学ニュースネット委員会
関西大学タイムス編集部
関学新月通信社

同志社大学PRESS編集部
NEWS立命通信社
京都女子大学藤花通信編集部
神戸女学院大学K.C.Press編集部

の9団体でつくる学生報道団体です

週刊イマドキ学生新聞
FOCUS
あなたの世界が、ちょっと広がる。